

殺すことへの矛盾

今週のお助け人

きえ りゆうしょう
帰依 龍照さん

沖縄市のコザ真宗寺(旧コザ本願寺)住職。諸見里青年会OB。趣味は、見た目に合わせた大型バイクと、見た目に合わない熱帯魚飼育。自分の存在そのものが、人々の癒やしであれば…と日々願う。座右の言は「恩は石に刻み怒みは水に流せ」。ホームページ kozashinsyuji.com

『生命・命』の漢字には、生物学・医学的な意味も多く含まれますので、今回わたしはあえて『いのち』と表現させていただきましよう。この語源は、一番最初という意味の『いの一』から『いのち』になったそうです。ちなみに『心』は、人間の思いがそのときどきで『ころころ』変わるころから『ころころ』になったとか。へえ、へえ、へえ！

● 生き物の命について。外で無意味にアリをつぶしていた娘に対し、「アリだって生きてるんだよ」と注意するわたしですが、台所で食べ物に群れるアリは即座に殺しています。生活のじゃまをする生き物は殺し、そうでない生き物は大事にする—自分の中ではその基準があっても、子どもから見たら矛盾です(同じアリなんですから)。ささいなことのようにですが、やはり引っかけります。子どもにはどう説明すればいいでしょう？ (Kさん=35歳・男性)

今回は心が洗われるようなご相談ですね。一寸の虫にも五分の魂—娘さんにアリのいのちの大切さを教えらるるKさんは、とても素晴らしいお父さんですね。また、台所の食べ物に群がるアリを殺してしまう自分に大きな矛盾を感じるのも、Kさんが『いのち』を粗末にはしていないことをよく知っておられるからでしょう。

「意味のある」殺生も大罪

昔、師匠が「蚊帳と殺虫剤の違い」を説いたことがあります。東洋哲学と西洋哲学の比較研究でのお話でした。

「殺虫剤が人間の害虫である蚊を殺すことが目的なのに対し、蚊帳は寝室に入つてこないよう予防する、人間と生き物との共存の思想がある。腕や足に止まれば、必ず蚊を殺生してしまう自分自身を熟知して、罪を作らないための、東洋的な『いのち』への敬いの最高傑作なのだよ」
ご相談内容に「外で無意味に…」の文章が見受けられますが『いのち』の立場で殺生を考えていくときには『無意味な』殺生はもちろんのこと『意味があ

る」殺生も、非常に大きな罪(仏教的には殺生罪)になってしまいます。それは『意味がある』そのものが、自分を中心とする判断であることにほかならないからです。Kさん！蚊帳の生活文化から学びつつ、台所のアリを殺すのではなく、ハタキで落としたり、ホウキで外に掃き出すなど、できる限り殺さないでおきましょうね。

娘さんにはイソップ童話の『アリとキリギリス』から「アリさんもお父さんと同じように一生懸命働いて家族を守っているんだね」と読み聞かせるのも方法でしょう。あつ、キリギリスもその後、心を入れ替えて頑張つて働いたという創作も付け加えて…。先日、急逝した諸見里青年会の親友から、以前「龍照、エイサーの道ジュネー(島まわり)で、歩きながら太鼓をたたくのは、道路の真ん中や道はたに小い小さな生き物を、むやみやたらに殺さないため『あつちに行つて！そつちに逃げて！』の意味もあるらしいよ」と教わりました。

猫 活 的



ネッカチーフの結び方が西部劇風。「おしゃれですね、だんな」と声をかけたら悠長なあくびが返ってきた。ニヒルな大人の余裕を感じた。県立芸大にて。(公)

諸見エイサーを愛して止まなかった彼との、突然の『いのち』の別れに、私たち友人一同、涙が止まらず翼をもがれた思いです。わたしたちは生活を営んでいく上で、かけがえない『いのち』と別れ、ときには自分の『いのち』のために、別の多くの『いのち』を奪つていかなければなりません。食前の「いただきます」は『いのち』をいただきますの意味。せめても三度の食事を残さずにおいしく頂戴することが、失われていく『いのち』への感謝です。この矛盾を忘れたら、その人自身の『いのち』の輝きまで失ってしまうでしょう。

Kさん、娘さんと『いのち』について語り合ってくださいね。そうそう、今回は、アリさんのことだけに「アリさんが「アリがとうとう」って言っていたよ」のオチも…。

自分自身の悩み・対人の悩み・恋の悩み・へんな悩み・大きな悩み・小さな悩み…そんな心の悩みにアドバイザーが答えます。相談内容を編集部までお送りください(短縮の場合あり・匿名可・秘密厳守)。採用分には記念品を差し上げます。